

2019年度  
決算説明資料

2020年5月12日  
旭化成株式会社

# 目次

## 1. 2019年度実績

P8	主要決算数値
P9	連結損益計算書
P10	連結貸借対照表
P11	連結キャッシュ・フロー計算書
P12	セグメント別売上高・営業利益
P13	セグメント別売上高・営業利益 増減内訳

## 2. 参考資料

P15～16	事業別売上高・営業利益
P17～18	事業別売上高・営業利益増減 内訳
P19	事業別海外売上高
P20	事業別設備投資額、減価償却 費、研究開発費
P21	設備投資件名
P22～31	セグメント別概況
P32	特別損益
P33～35	事業別四半期売上高・営業利 益推移
P36	開示区分の変更について

# 2019年度決算のポイント

※ 2019年度決算は監査法人の会計監査報告が未了。監査の結果、修正が生じた場合は速やかに開示する。

## 2019年度実績

- 売上高 21,516億円（前期並み、歴代2位）
  - ◆ 「マテリアル」は減収、「住宅」「ヘルスケア」は増収。  
尚、買収による新規連結（Sage（マテリアル）、Erickson（住宅）、Cardiac Science（ヘルスケア）等）の増収要因あり。
- 営業利益 1,773億円（前期比▲323億円、15.4%減益）
  - ◆ 「マテリアル」（同▲372億円）は、中国市場成長鈍化、自動車市場減速、石化市況下落に加え、第4四半期からの新型コロナウイルスの影響を受け減益。
  - ◆ 「住宅」（同＋45億円）は不動産部門の堅調な推移、「ヘルスケア」（同＋17億円）はクリティカルケア事業の順調な拡大等により、それぞれ新型コロナウイルスの影響を受けたが増益。
- 当期純利益 1,039億円（前期比 ▲436億円、29.5%減益）
  - ◆ 固定資産の減損損失や事業構造改善等により減益。
- 1株当たり年間配当金34円

# 2020年度業績予想について(1)

## 新型コロナウイルス影響についての考え方

- ✓ 新型コロナウイルスの世界経済への影響規模や沈静化の時期については見通しが難しい状況だが、当社グループでは、刻々と変化する世界経済の状況や当社グループの経営環境を把握し、随時的確な経営判断を行っていく。
- ✓ 特に、市場環境の透明度が改善するまでは、設備投資・投融資の抑制や、手元資金の確保、機動的な資金調達手段の手当てなどにより、適切なキャッシュマネジメントに注力していく。
- ✓ 新型コロナウイルスへの対応として、当社グループはお客様、お取引先様および従業員の安全を最優先に考え、お客様およびお取引先様の事業、当社グループ事業への影響を最小限にとどめるよう努めると同時に、当社グループの各事業を通しての貢献においても責任を果たしていく。
- ✓ このような不透明な環境下、現時点では2020年度業績予想を合理的に行うことは困難であるため、連結業績予想は未定とし、想定される事業への影響を次頁に可能な限り整理してお伝えする。今後、開示が可能となった時点で速やかに定量的な業績予想の開示を行うことを予定している。

# 2020年度業績予想について(2)

## 新型コロナウイルス影響を踏まえた事業の見通し

### ➤「マテリアル」

- ・自動車や家電、衣料などの市場における全般的な経済活動の落ち込みの影響と、原油安による石化関連の市況悪化により、2019年度業績に届かない可能性がある。
- ・厳しい経営環境だが、需要増が期待される5Gやタブレット端末向けの電子材料・電子部品、環境対応車向けLIB用セパレータ等の事業に注力するとともに、コロナ禍収束後の世界経済回復時に迅速に対応できるよう準備を進め、新型コロナウイルスの影響を最小限に抑える。

### ➤「住宅」

- ・展示場閉鎖や外出自粛制限等の影響が、建築請負部門での集客や受注に出ており、不動産部門・リフォーム部門等の周辺事業にも及ぶことにより、2019年度業績に届かない可能性がある。
- ・厳しい経営環境だが、ITを活用したデジタルマーケティングや生産性の向上、コストダウン等を進め、新型コロナウイルスの影響を最小限に抑える。

# 2020年度業績予想について(3)

## 新型コロナウイルス影響を踏まえた事業の見通し(続き)

### ➤「ヘルスケア」

- ・外出自粛制限等が患者様の通院や当社事業活動への制約となり、各事業において影響が出る可能性がある。
- ・一方で、人工呼吸器や除細動器、血液浄化関連製品や血漿分画製剤用のウイルス除去フィルターなどの医療機器事業において需要が高まっており、安定生産や生産能力増を通じて供給責任を果たし、コロナ禍早期収束と収束後の医療への貢献に努める。

## 株主還元方針

- ✓ 新型コロナウイルスが当社グループの事業にもたらす影響を見通すことは現時点では困難で、その影響次第ではグループ全体として2019年度業績に届かない可能性があるが、株主還元に関しては「安定配当且つ継続的な増配を目指す」という方針に変わりはなく、期末業績の結果を踏まえて、適切に判断する。



## 1. 2019年度実績

# 主要決算数値

(億円)

	18年度	19年度		対前年度 (b-a)		対前回予想 (b-c)	
	a	実績 b	前回予想*1 c	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	21,704	21,516	21,900	-188	-0.9%	-384	-1.8%
営業利益	2,096	1,773	1,785	-323	-15.4%	-12	-0.7%
経常利益	2,200	1,840	1,835	-360	-16.4%	5	0.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,475	1,039	1,275	-436	-29.5%	-236	-18.5%

## <前提>

国産ナフサ価格 (円/kl)	49,400	43,000	43,200	-6,400	-200
相場平均為替レート (円/USドル)	111	109	109	-2	-0
(円/ユーロ)	128	121	121	-8	0

	18年度	19年度
1株当たり当期純利益(EPS) (円)	105.66	74.85
1株当たり年間配当金 (円)	34	34
配当性向	32.2%	45.4%
総資産利益率(ROA)	6.0%	3.9%
自己資本利益率(ROE)	11.1%	7.6%

\*1 2020年2月時点の予想



# 連結損益計算書

(億円)

	18年度		19年度		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	21,704	100.0%	21,516	100.0%	-188	-0.9%
売上原価	14,819	68.3%	14,766	68.6%	-52	-0.4%
売上総利益	6,885	31.7%	6,750	31.4%	-135	-2.0%
販管費	4,790	22.1%	4,978	23.1%	188	3.9%
営業利益	2,096	9.7%	1,773	8.2%	-323	-15.4%
営業外損益	104		67		-36	
（内、金融収支）	(47)		(39)		(-8)	
（内、持分法投資損益）	(121)		(71)		(-50)	
（内、為替差損益）	(-27)		(-23)		(4)	
経常利益	2,200	10.1%	1,840	8.6%	-360	-16.4%
特別損益	-96		-281		-185	
税前利益	2,104		1,559		-545	
法人税等	606		502		-104	
非支配株主に帰属する 当期純利益	23		18		-5	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,475	6.8%	1,039	4.8%	-436	-29.5%

# 連結貸借対照表

	19/3月末	20/3月末*1	増減		19/3月末	20/3月末*1	増減
流動資産	10,514	11,074	560	負債	11,725	14,145	2,420
現金及び預金	1,939	2,080	141	流動負債	6,819	8,425	1,607
受取手形及び売掛金	3,507	3,310	-197	固定負債	4,906	5,720	813
棚卸資産	4,273	4,778	505	純資産	14,027	13,835	-193
その他	794	906	112	株主資本	12,567	13,028	460
固定資産	15,238	16,905	1,667	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	6,214	6,537	323	資本剰余金	797	796	-1
無形固定資産	5,300	6,855	1,555	利益剰余金	10,776	11,257	482
投資その他の資産	3,725	3,514	-211	自己株式	-39	-60	-21
				その他の包括利益累計額	1,247	565	-682
				非支配株主持分	212	241	29
資産合計	25,752	27,980	2,228	負債純資産合計	25,752	27,980	2,228

のれん残高	3,199	4,695	1,496
有利子負債*2	4,245	7,038	2,794
D/Eレシオ	0.31	0.52	0.21

\*1 2020年3月3日付(デンマーク時間)で買収を完了した米国Veloxis Pharmaceuticals Inc.を新規連結したことに伴い、2020年3月末の総資産(本買収に伴うのれんの発生額を含む)が1,657億円増加している。なお、当期末においては取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額が含まれている。

\*2 リース債務除く

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	18年度	19年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	2,121	1,245
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-1,989	-3,182
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	131	-1,937
財務活動によるキャッシュ・フロー④	174	2,219
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	5	-41
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	311	242

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,486	1,805
連結の範囲の変更に伴う増減額⑧	8	1
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	1,805	2,048

## セグメント別売上高・営業利益

## &lt;売上高&gt;

(億円)

	18年度			19年度			増減 b-a	増減率	19年度 前回予想*1 c	増減 b-c
	上期	下期	計 a	上期	下期	計 b				
マテリアル*2	5,781	5,981	11,762	5,602	5,329	10,931	-831	-7.1%	11,140	-209
住宅*3	2,987	3,611	6,598	3,334	3,710	7,044	447	6.8%	7,210	-166
ヘルスケア	1,545	1,617	3,162	1,676	1,702	3,378	216	6.8%	3,360	18
その他	102	81	183	74	89	163	-20	-10.8%	190	-27
合 計	10,415	11,289	21,704	10,686	10,830	21,516	-188	-0.9%	21,900	-384

## &lt;営業利益&gt;

(億円)

	18年度			19年度			増減 b-a	増減率	19年度 前回予想*1 c	増減 b-c
	上期	下期	計 a	上期	下期	計 b				
マテリアル*2	721	574	1,296	569	355	924	-372	-28.7%	940	-16
住宅*3	260	421	682	327	400	727	45	6.7%	730	-3
ヘルスケア	220	198	418	259	176	435	17	4.0%	425	10
その他	12	12	24	11	21	32	8	31.8%	25	7
消去又は全社	-171	-153	-324	-149	-196	-345	-21	-	-335	-10
合 計	1,043	1,053	2,096	1,017	756	1,773	-323	-15.4%	1,785	-12

\*1 2020年2月時点の予想

\*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「マテリアル」セグメントに含めて開示している。

\*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」セグメントに含めて開示している。

## セグメント別売上高・営業利益増減内訳

(億円)

		18年度	19年度	増減額	増減率	内訳			
						数量差	売値差	うち為替因	その他差
マテリアル <sup>*1</sup>	売上高	11,762	10,931	-831	-7.1%	-525	-484	-75	179
	営業利益	1,296	924	-372	-28.7%	-122			235
住宅 <sup>*2</sup>	売上高	6,598	7,044	447	6.8%	116	40	-	291
	営業利益	682	727	45	6.7%	3			3
ヘルスケア	売上高	3,162	3,378	216	6.8%	126	18	-2	72
	営業利益	418	435	17	4.0%	62			-63
その他	売上高	183	163	-20	-10.8%	-20	-	-	-
	営業利益	24	32	8	31.8%	13			-6
消去又は全社	営業利益	-324	-345	-21	-	-	-	-	-21
合 計	売上高	21,704	21,516	-188	-0.9%	-302	-427	-77	541
	営業利益	2,096	1,773	-323	-15.4%	-44			147

\*1 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「マテリアル」セグメントに含めて開示している。

\*2 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」セグメントに含めて開示している。



## 2. 参考資料

## 事業別売上高\*1

(億円)

	18年度			19年度			増減 b-a	増減率	19年度 前回予想*2 c	増減 b-c
	上期	下期	計 a	上期	下期	計 b				
基盤マテリアル	2,055	1,942	3,997	1,726	1,624	3,350	-647	-16.2%	3,430	-80
パフォーマンスプロダクツ*3	2,142	2,429	4,571	2,255	2,106	4,361	-210	-4.6%	4,420	-59
スペシャルティソリューション	1,582	1,627	3,208	1,580	1,587	3,166	-42	-1.3%	3,200	-34
マテリアル共通	2	-17	-15	41	12	54	69	-	90	-36
住宅*4	2,718	3,329	6,047	3,049	3,444	6,493	446	7.4%	6,650	-157
建材	269	282	551	286	266	551	1	0.2%	560	-9
医薬・医療	684	671	1,355	701	632	1,333	-22	-1.6%	1,340	-7
クリティカルケア	860	946	1,807	975	1,070	2,045	238	13.2%	2,020	25
その他	102	81	183	74	89	163	-20	-10.8%	190	-27
合 計	10,415	11,289	21,704	10,686	10,830	21,516	-188	-0.9%	21,900	-384

\*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P36の「開示区分の変更について」を参照。

\*2 2020年2月時点の予想。

\*3 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

\*4 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

## 事業別営業利益\*1

(億円)

	18年度			19年度			増減 b-a	増減率	19年度 前回予想*2 c	増減 b-c
	上期	下期	計 a	上期	下期	計 b				
基盤マテリアル	328	203	531	201	65	266	-265	-49.9%	285	-19
パフォーマンスプロダクツ*3	227	246	474	207	131	337	-136	-28.8%	345	-8
スペシャルティソリューション	189	141	330	149	155	304	-26	-7.8%	295	9
マテリアル共通	-23	-16	-39	12	5	16	55	-	15	1
住宅*4	243	392	635	301	373	674	39	6.1%	680	-6
建材	19	29	47	27	29	56	9	18.8%	50	6
医薬・医療	106	78	184	140	38	178	-6	-3.2%	170	8
クリティカルケア	114	120	234	119	138	257	23	9.7%	255	2
その他	12	12	24	11	21	32	8	31.8%	25	7
消去又は全社	-172	-152	-324	-150	-198	-348	-24	-	-335	-13
合 計	1,043	1,053	2,096	1,017	756	1,773	-323	-15.4%	1,785	-12

\*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P36の「開示区分の変更について」を参照。尚、セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2020年2月時点の予想。

\*3 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

\*4 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。



事業別売上高・営業利益\*<sup>1</sup>増減内訳(1)

(億円)

		18年度	19年度	増減額	増減率	内訳			
						数量差	売値差	うち為替因	その他差
基盤マテリアル	売上高	3,997	3,350	-647	-16.2%	-248	-321	-11	-78
	営業利益	531	266	-265	-49.9%	-28			84
パフォーマンス プロダクツ* <sup>2</sup>	売上高	4,571	4,361	-210	-4.6%	-320	-109	-27	219
	営業利益	474	337	-136	-28.8%	-98			71
スペシャルティ ソリューション	売上高	3,208	3,166	-42	-1.3%	43	-54	-36	-31
	営業利益	330	304	-26	-7.8%	4			25
マテリアル共通	売上高	-15	54	69	-	-	-	-	69
	営業利益	-39	16	55	-	-			55
住宅* <sup>3</sup>	売上高	6,047	6,493	446	7.4%	120	35	-	291
	営業利益	635	674	39	6.1%	-0			4
建材	売上高	551	551	1	0.2%	-4	5	-	-
	営業利益	47	56	9	18.8%	3			1

\*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P36の「開示区分の変更について」を参照。尚、セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

\*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

事業別売上高・営業利益\*<sup>1</sup>増減内訳(2)

(億円)

		18年度	19年度	増減額	増減率	内訳			
						数量差	売値差	うち為替因	その他差
医薬・医療	売上高	1,355	1,333	-22	-1.6%	7	-10	-0	-19
	営業利益	184	178	-6	-3.2%	-4			8
クリティカルケア	売上高	1,807	2,045	238	13.2%	119	28	-2	91
	営業利益	234	257	23	9.7%	66			-71
その他	売上高	183	163	-20	-10.8%	-20	-	-	-
	営業利益	24	32	8	31.8%	13			-6
消去又は全社	営業利益	-324	-348	-24	-	-	-	-	-24
合計	売上高	21,704	21,516	-188	-0.9%	-302	-427	-77	541
	営業利益	2,096	1,773	-323	-15.4%	-44			147

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

## 事業別海外売上高\*1

(億円)

	18年度			19年度			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
基盤マテリアル	3,997	1,754	43.9%	3,350	1,490	44.5%	-264	-15.1%
パフォーマンスプロダクツ*2	4,571	2,490	54.5%	4,361	2,453	56.2%	-37	-1.5%
スペシャルティソリューション	3,208	2,042	63.7%	3,166	2,010	63.5%	-32	-1.6%
住宅*3	6,047	45	0.7%	6,493	185	2.9%	140	—
建材	551	1	0.2%	551	0	0.1%	-1	-70.1%
医薬・医療	1,355	448	33.1%	1,333	438	32.8%	-11	-2.4%
クリティカルケア	1,807	1,785	98.8%	2,045	2,020	98.8%	235	13.2%
その他	168	27	16.3%	217	20	9.0%	-8	-28.6%
合 計	21,704	8,593	39.6%	21,516	8,616	40.0%	23	0.3%
アジア		4,832	22.3%		4,384	20.4%	-449	-9.3%
（内、中国）		2,115	9.7%		1,886	8.8%	-230	-10.9%
米州		2,499	11.5%		2,924	13.6%	425	17.0%
欧州		1,045	4.8%		1,123	5.2%	78	7.4%
その他海外		216	1.0%		185	0.9%	-31	-14.3%

## &lt;参考&gt;

住宅・建材を除いた売上高                      15,106      8,546      56.6%      14,472      8,430      58.2%

\*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P36の「開示区分の変更について」を参照。

\*2 2018年度第4四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

\*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

# 事業別設備投資額、減価償却費、研究開発費\*1

(億円)

	設備投資額		減価償却費*2		研究開発費	
	18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度
基盤マテリアル	180	221	116	131	23	25
パフォーマンส์プロダクツ*3	316	415	181	222	123	137
スペシャルティソリューション	370	409	207	233	192	202
マテリアル共通	0	0	0	0	0	3
住宅*4	149	152	70	82	29	30
建材	27	30	21	24	9	6
医薬・医療	81	105	57	64	219	194
クリティカルケア	93	55	123	128	153	159
その他	16	22	14	15	1	1
消去又は全社	130	133	56	62	151	154
合 計	1,362	1,541	846	960	901	910

のれん償却額                      195                      223

\*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P36の「開示区分の変更について」を参照。

\*2 有形固定資産、無形固定資産(除く、のれん)の償却額を合算した金額で開示している。

\*3 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンส์プロダクツ」事業に含めて開示している。

\*4 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

# 設備投資件名

## <19年度末完工件名>

- ・人工皮革「ラムース」の生産設備増設(～19年度上期、約300万m<sup>2</sup>/年、宮崎県延岡市)
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ」の紡糸工場新設による中空糸生産能力増強(約40,000m<sup>2</sup>/年、宮崎県延岡市)
- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア」の生産能力増強(～19年度下期、約2億m<sup>2</sup>/年、滋賀県守山市)

## <19年度末時点 工事中件名>

- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「セルガード」の生産能力増強(～20年度、約1億5,000万m<sup>2</sup>/年、米国ノースカロライナ州)並びに「ハイポア」の生産能力増強(～20年度上期、約9,000万m<sup>2</sup>/年 及び～21年度上期、約3億m<sup>2</sup>/年、滋賀県守山市)
- ・ナイロン66繊維「レオナ」の生産設備増設(～20年度上期、約5,000トン/年、宮崎県延岡市)
- ・水力発電所改修(～21年10月、宮崎県西臼杵郡)
- ・人工皮革「ラムース」の生産能力増強(～21年度下期、約400万m<sup>2</sup>/年、宮崎県延岡市)

○:投資額30億円以上

# マテリアルセグメント(1)

(億円)

	売上高*1			
	18年度	19年度	増減額	増減率
マテリアルセグメント	11,762	10,931	-831	-7.1%
基盤マテリアル	3,997	3,350	-647	-16.2%
パフォーマンスプロダクツ*2	4,571	4,361	-210	-4.6%
スペシャルティソリューション	3,208	3,166	-42	-1.3%
マテリアル共通	-15	54	69	—

	営業利益*1			
	18年度	19年度	増減額	増減率
マテリアルセグメント	1,296	924	-372	-28.7%
基盤マテリアル	531	266	-265	-49.9%
パフォーマンスプロダクツ*2	474	337	-136	-28.8%
スペシャルティソリューション	330	304	-26	-7.8%
マテリアル共通	-39	16	55	—

## ＜基盤マテリアル事業＞

### 営業利益:減益

- (一) ナフサクラッカーの臨時修理および誘導品の定期修理による影響
- (一) ナフサクラッカーの設備トラブルによる影響
- (一) ナフサ等の価格下落に伴う在庫受払差
- (一) 各製品の取引条件悪化
- (一) 東西石油化学(株)の為替換算影響

\*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P36の「開示区分の変更について」を参照。尚、セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

# マテリアルセグメント(2)

## ＜パフォーマンスプロダクツ事業＞

### 営業利益:減益

- (+) Sage連結
- (-) タイヤ向け合成ゴムの操業度差、販売数量減少および交易条件悪化
- (-) 各繊維製品の販売数量減少
- (-) エンジニアリング樹脂の販売数量減少
- (-) 各事業における固定費の増加

### トピックス

- ・ポリアセタール樹脂「テナック-C Z4520」の中国におけるグリーン材料認定取得を発表。(5月)
- ・人工皮革「ラムース」の生産能力増強決定を発表。(7月)
- ・Sageによる米国Adient社の自動車内装ファブリック事業買収決定を発表。(3月)
- ・AS、ABSおよびACS樹脂事業からの撤退決定を発表。(3月)

## ＜スペシャルティソリューション事業＞

### 営業利益:減益

- (+) 環境対応車向けを中心としたLIB用セパレータ「ハイポア」の販売数量増加
- (-) 韓国におけるESS火災の影響によるLIB用セパレータ「セルガード」の販売数量減少
- (-) 円高の影響

# 住宅セグメント(1)

(億円)

	売 上 高			
	18年度	19年度	増減額	増減率
住宅セグメント	6,598	7,044	447	6.8%
住宅事業	6,047	6,493	446	7.4%
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	4,037	4,157	120	3.0%
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	1,354	1,519	164	12.1%
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	584	613	29	5.0%
その他住宅 周辺事業等*1	71	204	132	—
建材事業	551	551	0.9	0.2%

	営業利益*2			
	18年度	19年度	増減額	増減率
住宅セグメント	682	727	45	6.7%
住宅事業	635	674	39	6.1%
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	414	408	-6	-1.5%
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	138	180	42	30.5%
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	62	71	9	14.1%
その他住宅 周辺事業等*1	21	16	-5	-25.2%
建材事業	47	56	8.9	18.8%

## 営業利益:増益

- (+) 物件の大型化などによる平均単価上昇
- (+) 不動産部門における分譲事業の堅調な推移
- (-) 建築請負部門における戸建住宅の引渡棟数減少
- (-) 住宅事業における業務委託費等の固定費増加

## 建築請負部門の受注状況

- ・消費増税や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年比11.3%の減少となった。

## トピックス

- ・要介護期向けサービス付き高齢者向け住宅「Village (ヴィラージュ)リーシュ」シリーズの立ち上げを発表。(4月) 第1号となる「Villageリーシュ上石神井」を開業。(10月)
- ・フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」などの断熱材製品が、環境負荷低減への貢献を評価され「第18回GSC賞 環境大臣賞」を受賞。(6月)
- ・事業運営を100%再生可能エネルギーで行うことを目標とする国際的イニシアチブ「RE100」に加盟。(9月)

\*1 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を連結している。

\*2 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。



# 住宅セグメント(2) 売上高、受注高の状況

(単位:億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	建築請負 部門売上高*1*2	不動産部門売上高*1				リフォーム 部門売上高	他*3	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
15	上期	2,173 (-0.2%)	1,838 (-2.2%)	104	335	17	456	278	9	2,580 (0.8%)	5,546
	下期	1,831 (-12.0%)	2,277 (5.3%)	277	390	18	684	281	7	3,250 (9.9%)	5,131
	通期	4,004 (-5.9%)	4,115 (1.8%)	381	725	35	1,141	559	16	5,830 (5.7%)	
16	上期	2,066 (-4.9%)	1,835 (-0.1%)	118	412	18	548	270	-5	2,648 (2.6%)	5,388
	下期	1,943 (6.1%)	2,208 (-3.1%)	95	435	16	546	291	8	3,053 (-6.1%)	5,158
	通期	4,009 (0.1%)	4,043 (-1.8%)	213	847	34	1,094	561	4	5,702 (-2.2%)	
17	上期	1,931 (-6.5%)	1,827 (-0.4%)	120	453	16	590	268	11	2,696 (1.8%)	5,289
	下期	2,125 (9.4%)	2,241 (1.5%)	147	478	25	651	284	11	3,187 (4.4%)	5,209
	通期	4,056 (1.2%)	4,068 (0.6%)	268	932	42	1,241	552	22	5,883 (3.2%)	
18	上期	2,101 (8.8%)	1,755 (-4.0%)	168	497	16	681	272	10	2,718 (0.8%)	5,578
	下期	2,415 (13.6%)	2,282 (1.8%)	132	521	21	674	312	61	3,329 (4.5%)	5,750
	通期	4,516 (11.3%)	4,037 (-0.8%)	299	1,018	37	1,354	584	71	6,047 (2.8%)	
19	上期	2,019 (-3.9%)	1,973 (12.4%)	76	544	23	643	320	113	3,049 (12.2%)	5,890
	下期	1,984 (-17.8%)	2,184 (-4.3%)	280	568	28	876	294	90	3,444 (3.4%)	5,782
	通期	4,003 (-11.3%)	4,157 (3.0%)	355	1,112	51	1,519	613	204	6,493 (7.4%)	

\*1 2015年度下期より「建築請負部門」に算入されていた旭化成ホームズの賃貸管理事業を「不動産部門」に移管し、移管後の数値で記載している。

\*2 2019年度より、従来販管費で計上していたケア工事収入を売上高に含めている。

\*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を連結している。

# 住宅セグメント(3) 用途別売上高、受注高の状況

2019年度 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄: 前年同期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸建系	低 層	2,158	-0.3%	6,461	-3.9%	2,088	-8.8%	6,300	-8.1%
	中 層	751	-9.2%	2,650	-15.3%	776	-13.8%	2,703	-13.8%
	小 計	2,909	-2.8%	9,111	-7.5%	2,864	-10.2%	9,003	-9.8%
集合系	低 層	334	0.0%	2,324	1.4%	322	-19.7%	2,106	-24.6%
	中 層	728	12.4%	4,797	8.0%	818	-11.5%	5,266	-9.0%
	小 計	1,062	8.2%	7,121	5.8%	1,140	-14.0%	7,372	-14.1%
建築請負事業合計		3,971	-0.1%	16,232	-2.1%	4,003	-11.3%	16,375	-11.8%
その他*1		186	—	17	70.0%	—	—	—	—
建築請負部門合計		4,157	3.0%	16,249	-2.1%	4,003	-11.3%	16,375	-11.8%

\*1 一部分譲、ケア工事収入等。

# ヘルスケアセグメント(1)

(億円)

	売上高			
	18年度	19年度	増減額	増減率
ヘルスケアセグメント	3,162	3,378	216	6.8%
医薬・医療事業	1,355	1,333	-22	-1.6%
クリティカルケア事業	1,807	2,045	238	13.2%

	営業利益*1			
	18年度	19年度	増減額	増減率
ヘルスケアセグメント	418	435	17	4.0%
医薬・医療事業	184	178	-6	-3.2%
クリティカルケア事業	234	257	23	9.7%

## 営業利益:増益

(+)クリティカルケア事業の順調な推移

(+)医薬事業における固定費減少

## トピックス

- ・米国医療機器メーカーCardiac Science Corporationの買収を発表。(6月) 買収を完了。(8月)
- ・「テリボン 皮下注28.2  $\mu$ gオートインジェクター」の製造販売承認を取得。(9月) 販売開始。(12月)
- ・オーストリアバイオセーフティ試験受託サービス提供会社VirusSureを買収。(10月)
- ・米国製薬企業Veloxis社の買収を発表。(11月) 買収を完了。(3月)
- ・米国Woolsey Pharmaceuticals, Inc.に対する「ファスジル」(注射剤および点眼剤以外)の日本、韓国、中国、台湾以外の全世界における開発権・製造権および独占的販売権を供与するライセンス契約を締結。(11月)
- ・SBIバイオテック(株)と「SBI-3150」に関する独占的ライセンス契約を締結。(3月)
- ・新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受けZOLLによる人工呼吸器増産決定を発表。(3月)

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

# ヘルスケアセグメント(2)

## ＜医薬・医療事業 売上高内訳＞

(億円)

	18年度			19年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬事業	322	323	645	333	301	635
医療事業	363	348	710	368	331	699
医薬・医療 計	684	671	1,355	701	632	1,333

## ＜旭化成ファーマ主要医薬品の国内売上高＞

(億円)

	18年度			19年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
テリボン	144	139	283	144	131	275
リコモジュリン	60	58	118	61	49	109
ケブザラ	3	10	13	19	24	43
フリバス	18	15	33	14	11	25
ブレディニン	16	14	30	14	12	25
エルシトニン	12	11	23	11	9	19
リクラスト	7	7	14	7	6	14

# ヘルスケアセグメント(3)

## <クリティカルケア事業 業績推移(USDベース)>

(百万USD)

			18年度			19年度			差異	
			上期	下期	年間	上期	下期	年間	増減額	増減率
売上高(連結)			780	848	1,629	897	983	1,880	251	15.4%
事業利益			163	170	333	175	199	374	41	12.4%
のれん償却額 <sup>*1</sup>			-37	-38	-75	-43	-50	-93	-18	
無形固定資産償却額等 <sup>*1</sup>			-23	-24	-47	-22	-22	-45	2	
償却額合計			-60	-62	-122	-65	-72	-138	-16	
営業利益(連結)			103	108	211	110	126	236	25	11.9%

\*1 のれん償却額および無形固定資産償却額等には、以下の数字を計上している。

① 2012年4月の当社によるZOLL買収に伴う日本会計基準・米国会計基準に基づく償却額

② それ以降ZOLLが実施した買収に伴う日本会計基準に基づく償却額

(尚、②の買収に伴う米国会計基準に基づく償却額は事業利益に計上している。)

# ヘルスケアセグメント(4)

## <医薬事業の主要医薬品の説明>

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン: PTH)	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液 凝固症)	注射剤
ケブザラ	サリルマブ(遺伝子組換え)	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分 な関節リウマチ	注射剤
フリバス	ナフトピジル	排尿障害改善剤	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	錠剤
エルシトニン注20S エルシトニン注20S ディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
ブレディニン	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、腎移植、 ネフローゼ症候群、 ループス腎炎	錠剤

# ヘルスケアセグメント(5)

## <医薬事業の研究開発の状況>

		開発コード・剤型 (一般名)	薬効・分類	適応症	地域	自社/導入	備考
国内	フェーズⅢ	AK1820・注、カプセル (イサブコナゾニウム硫酸塩)	深在性真菌症 治療剤	深在性真菌症	日本	導入	
	フェーズⅡ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性 末梢神経障害	日本	自社	効能追加
	フェーズⅡ	AK1830・経口	慢性疼痛治療剤	変形性関節症に伴う 疼痛	日本	導入	
海外	申請中	フリバス・錠 (ナフトピジル)	排尿障害改善剤	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	中国	自社	
	申請 準備中	HE-69・錠 (ミゾリビン)	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	中国	自社	効能追加
	フェーズⅢ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	米国・欧州 他	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

# 特別損益

(億円)

		18年度	19年度	増減
	投資有価証券売却益	116	137	21
	固定資産売却益	7	43	36
	特別利益	122	179	57
	投資有価証券評価損	2	20	18
	固定資産処分損	66	97	30
	減損損失	111	219	109
	事業構造改善費用	39	48	9
	災害関連損失	—	24	24
	製品補償損失	—	52	52
	特別損失	218	460	242
	特別損益	-96	-281	-185



# 事業別四半期売上高\*1推移

(億円)

	18年度				19年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	2,802	2,979	3,113	2,869	2,714	2,889	2,757	2,573
基盤マテリアル	977	1,078	1,010	932	843	883	864	760
パフォーマンスプロダクツ*2	1,043	1,099	1,230	1,199	1,123	1,133	1,073	1,033
スペシャルティソリューション	767	815	863	763	722	858	810	777
マテリアル共通	15	-13	9	-26	26	15	9	3
住宅セグメント	1,287	1,700	1,481	2,129	1,446	1,889	1,563	2,147
住宅*3	1,157	1,561	1,328	2,001	1,306	1,743	1,419	2,025
建材	130	139	154	128	140	145	144	122
ヘルスケアセグメント	763	782	815	802	827	849	835	867
医薬・医療	347	338	356	315	343	358	323	309
クリティカルケア	417	444	459	487	484	491	512	558
その他	46	56	44	37	35	39	44	45
合 計	4,898	5,517	5,453	5,837	5,021	5,666	5,199	5,631

\*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P36の「開示区分の変更について」を参照。

\*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

\*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

# 事業別四半期営業利益\*1推移

(億円)

	18年度				19年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	349	372	347	228	259	310	222	133
基盤マテリアル	146	181	125	79	88	113	61	4
パフォーマンスプロダクツ*2	120	107	134	112	104	102	78	53
スペシャルティソリューション	92	97	102	38	54	95	84	71
マテリアル共通	-9	-13	-15	-1	13	-1	-0	5
住宅セグメント	78	183	127	294	99	228	134	266
住宅*3	71	172	111	281	88	213	121	252
建材	8	11	19	9	13	15	18	11
ヘルスケアセグメント	123	97	121	77	126	133	99	77
医薬・医療	72	35	65	12	68	72	38	1
クリティカルケア	51	63	56	65	59	61	61	77
その他	6	6	4	8	3	8	9	12
消去又は全社	-76	-95	-70	-82	-74	-75	-78	-118
合 計	479	564	528	525	413	604	385	370

\*1 2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を変更している。詳細は、P36の「開示区分の変更について」を参照。尚、セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2018年度第3四半期より、2018年9月27日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Sage Automotive Interiors, Inc.及びその連結子会社の業績を「パフォーマンスプロダクツ」事業に含めて開示している。

\*3 2018年度第4四半期より、2018年11月30日付(米国東部時間)で買収を完了した米国Erickson Framing Operations LLC及びその連結子会社の業績を「住宅」事業に含めて開示している。

(参考)2016-2017年度

## マテリアルセグメント新開示区分ベース 四半期業績推移

&lt;売上高&gt;

(億円)

	16年度				17年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	2,301	2,339	2,530	2,609	2,468	2,721	2,886	2,802
基盤マテリアル	685	688	786	844	722	874	984	988
パフォーマンスプロダクツ	943	907	974	1,031	1,007	1,020	1,060	1,040
スペシャルティソリューション	676	725	781	752	734	827	837	774
マテリアル共通	-3	19	-11	-17	6	-0	5	0

&lt;営業利益\*1&gt;

(億円)

	16年度				17年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
マテリアルセグメント	178	211	274	221	280	327	368	244
基盤マテリアル	33	58	92	79	60	103	140	113
パフォーマンスプロダクツ	93	106	110	87	135	123	115	82
スペシャルティソリューション	49	59	82	66	90	106	114	63
マテリアル共通	3	-11	-9	-11	-5	-5	-1	-13

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

# 開示区分の変更について

2019年度より、マテリアルセグメントの事業別の開示区分を、従来の「繊維」「ケミカル」「エレクトロニクス」から、「基盤マテリアル」「パフォーマンスプロダクツ」「スペシャルティソリューション」「マテリアル共通」に変更する。

報告セグメント	事業別開示区分		
	(旧)		(新)
マテリアル	繊維		<b>基盤マテリアル</b> (旧「石油化学事業」)
	ケミカル (石油化学事業、 高機能ポリマー事業、 高機能マテリアルズ事業・消費財事業)		<b>パフォーマンスプロダクツ</b> (旧「繊維事業」、 旧「高機能ポリマー事業」、 旧「消費財事業」)
	エレクトロニクス (セパレータ事業、電子部品事業)		<b>スペシャルティソリューション</b> (旧「高機能マテリアルズ事業」、 旧「セパレータ事業」、 旧「電子部品事業」)
			<b>マテリアル共通</b>
住宅	変更なし		
ヘルスケア			
その他			
消去又は全社			

尚、当資料では、2018年度の実績について、上記変更を反映した数値を記載している。

## 業績予想の適切な利用に関する説明

### その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# *Creating for Tomorrow*

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。  
それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、  
より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。  
創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、  
次の時代へ大胆に応えていくために一。  
私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

**AsahiKASEI**